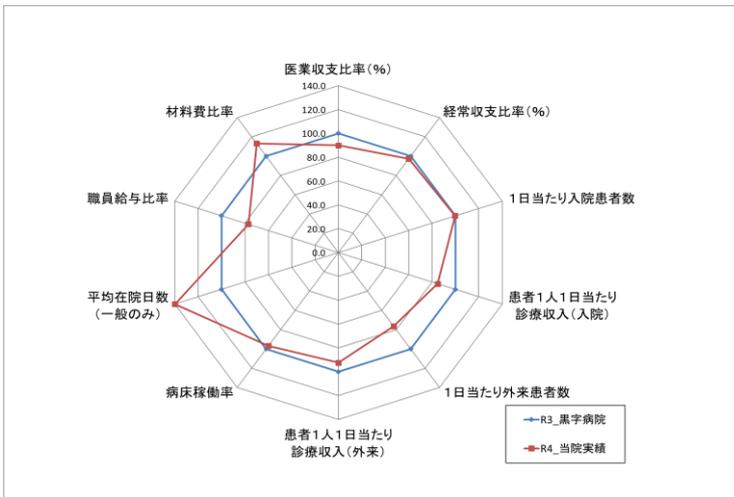




## 2) 令和4年度 経営分析



左の表は、令和3年度の総務省実施の決算統計において、自治体病院753病院中の医業利益がある11病院平均を100とした場合を青の点線で示しており、令和4年度の当院がどの位置にあるかを示している。

10項目中2項目は平均を上回っている。医業収支比率は、100%を下回っているものの経常収支比率は100%を超えることができた。

新型コロナウイルス感染症の流行により入院、外来の減少や緊急手当支給などで例年と比べ構成が異なっている。昨年度と比較すると、職員給与比率が減少している。

今後も、入院・外来の患者数、1人1日当たり診療収入（入院）を注視しながらさらに健全な病院経営の実践を行ってまいります。

区分		R3		R4
		当院実績	黒字病院	当院実績
1	医業収支比率 (%)	93.1	103.6	93.1
	医業費用に対する医業収益の比率を示す指標で、営業活動に対する収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
2	経常収支比率 (%)	108.6	108.2	105.3
	特別損益を除いた経常費用に対する経常収益の比率を示す指標で、経常的な収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
3	1日当たり入院患者数 (274床換算)	195.4	200.5	194.3
	年間延べ入院患者数を入院営業日数で除した人数で、入院患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
4	患者1人1日当たり診療収入 (入院)	55,408	66,229	56,217
	入院収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、入院収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
5	1日当たり外来患者数 (274床換算)	360.9	451.3	344.5
	年間延べ外来患者数を外来営業日数で除した人数で、外来患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
6	患者1人1日当たり診療収入 (外来)	19,397	23,488	21,724
	外来収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、外来収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
7	病床稼働率	71.3	73.2	70.9
	病床274床に対する入院患者数の比率を示す指標で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
8	平均在院日数 (一般のみ)	14.2	29.9	13.8
	一般病床（回復期除く）に対する入院患者の在院日数の平均を示す日数で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
9	職員給与比率	66.3	46.6	60.5
	病棟の職員数が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。 * 注意点として、令和2年度集計より短時間勤務者や派遣職員の給与費が含まれている。			
10	材料費比率	23.7	30.2	26.7
	病棟の材料費（薬品費、診療材料費、医療消耗備品費、給食材料費）が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。			

\* 黒字病院とは：総務省実施の決算統計において、自治体病院のうち医業利益がある病院（753病院中11病院）